



shalom (シャローム) は、ヘブライ語で「平和」を意味する言葉。現在では「こんにちは」「さよなら」の挨拶として使われています。

空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる。
新約聖書 マタイによる福音書6:26

高校3年生棟南側の3階ベランダにツバメが巣を作りました。2013年、聖愛が夏の甲子園初出場した年にも同じ所に巣を作り、糞の後始末が大変だった記憶があります。昔から「ツバメが巣を作ると縁起が良い」と言いますが、その理由は巣を作る場所にあります。

ツバメは、冬の間は台湾やフィリピンで過ごし、春になると約3000kmの長旅をして日本にやってくる渡り鳥で、野鳥にもかかわらず人家の玄関先などに巣を作ります。しかも農作物の害虫や蚊などを餌にするので、人間にとって役に立つ益鳥とされ、古くから日本各地で縁起の良い鳥とされてきました。ツバメの巣が運ぶ幸運と信じられてきたものに「商売繁盛」「豊作」「祈願成就」「夫婦円満・子宝に恵まれる」「火事・病人が出ない」などがあります。つまり、仕事や家庭も順調で災難も起こらないということですね。でも、種明かしをすると、ツバメが巣を作ることで運が良くなるのではなく、「ツバメは運気の良い場所にしか巣を作らない」というのが正しいようです。渡り鳥のツバメは自分自身の野生の感を大切にしますから、快適に子育てができる環境として、風通しが良く、温度や湿度が最適で居心地が良い場所を選んで巣を作るのです。そのような家ならば、そこで暮らす人間も健康的なはずですね。ツバメが巣を作る家は、風水的に見ても抜群の家相と言われるのはこのことが理由のようですね。

では、なぜツバメは人間の近くにいるのでしょうか？怖くはないのでしょうか？実はその逆で、ツバメは自分たちを守ってくれる人かどうかを観察しているのです。というのも、ツバメは弱い鳥ですから外敵から身を守ることが得意ではありません。ですからカラスや蛇、猫に襲われないように、子育てを人間にも手伝ってもらおうとして民家の軒先などに巣を作るのです。決して裏口や空き家などに巣を作らないのは、人の出入りが多く人の声が絶えない活気ある家や建物が安全な場所と知っているから。まさにツバメの知恵ですね。つまり、ツバメが巣を作ったから人の出入りが多くなったのではなく、もともと人の出入りが多く、明るい声のする元気な家だから巣を作ったということ。不吉なことが起こりそうな場所に巣を作らないのは、彼らが生きる上で身につけた能力だそうです。さらに、ツバメの親は、2羽そろって必死に子育てをする様子を人の目から隠そうとします。そのため、かわいい雛が日に日に大きくなる姿を見ると母性が育つことから、地域によっては「夫婦円満・子宝に恵まれる」象徴になったのでしょうか……と、ここまで書いた今日、ツバメの巣がカラスに襲撃され落ちていました。心配された雛は、何と！落下前に窓上のひさしに避難し、親子とも無事。雛は飛べるくらい育っていたのですね。ホッとすると同時に、自然界の厳しさを改めて知りました。

☆先生紹介☆

平山 愛 先生 (高校2年特進コース担任)

中学2年アドバンスの数学を担当している平山先生を紹介します。

～プロフィール～

聖愛高校卒業後、弘前大学理工学部数理システム学科に進学。その後、弘前大学大学院に進学し、修了後、聖愛中学高等学校の数学教員として着任。長くSPG顧問を務め、2013年と2015年にはチアリーディング全国大会に出場しました。

◇中学生の皆さんへのメッセージ

皆さん初めまして。今年1年間、中2の数学を担当することになりました。高校所属なので、授業以外では接する機会がありませんが、分からない事などがあったら、どんどん質問に来てください。

1年間楽しく授業をしていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

◆運動会 6/12(水)

天気に恵まれ、生徒も先生も（保護者の方も？）楽しい時間を過ごしました。運動会は、学年縦割りによる対戦です。中学校だけに生徒 v s 教師のプログラムがあり、高校生はうらやましように歓声をあげながら見ていました。今年は暑さ対策として、大学からテントをお借りしました。

第1位 白組 (210点) 第2位 紅組 (189点) 第3位 青組 (183点)



パン食い競争は、先生も保護者の方々も参加。素敵な聖愛の行事です。



↑聖愛名物「数学障害」。正解しないとゴールはできません

←「チャンス走」で姉（左奥）弟（右）の対決。
この後、高校生の視線釘付けの瞬間が！私が本気でうらやましいと感じた「おいしい」場面が下です！



←中高女子1000m。優勝は2年の宮川さん。聖愛最速の長距離ランナーになりました。



1番で目標に到着した彼！誰もが1着でゴールと思った…

しかし予想外にテープは長い…阿保Tが1本だけ仕込んだ超長いテープがこれです！

引いても引いても終わらない…他の選手はとっくにゴール！

そして訪れた歓喜の瞬間！テープを巻ききった！！彼の長い長い戦いが、今終わった！

◆ものづくり講座 6/17(月) 18日(火)

サモードスクールの先生と学生さんのご指導で、スカート、ハーフパンツの他に、今年はリジナルTシャツを製作しました。完成後、全員そろって前庭に出て、恒例のコーディネートショー。

作品は、これがなかなかの出来映えでした。聖愛の生徒は、本当に器用で感心します。

昨年まで以上に内容の濃い2日間でした。



◆花の日礼拝 6/19(水)

「花の日」は、1856年6月、米国のマサチューセッツ州の教会で行った「子どもの日礼拝」が始まりとされています。

聖愛では50年以上前から毎年6月に花の日の礼拝を捧げ、福祉施設や弘前駅、警察署、消防署などの公共機関に生徒が持ち寄った花をお届けします。私大好きな聖愛行事です。

